

普及活動情勢報告（平成30年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

土佐市・岩戸米営農組合が葉ニンニクの栽培を始めます。
～集落営農組織として新たな販路拡大園芸野菜の取り組みを開始～



葉ニンニクの研修中

6月18日、J Aとさし営農指導課と連携し土佐市岩戸米営農組合を対象に、葉ニンニクの栽培講習会を開催しました。営農組合の参加者は4名でした。

農業改良普及課では、葉ニンニクの栽培の基礎、流通・出荷方法等を説明しました。参加した組合員からは、定植時期、マルチの種類・張り方等多くの質問がありました。講習会で組合員と協議した結果栽培面積は10a、定植時期は9月下旬頃になりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し栽培技術や流通・販売面での指導助言等していきます。

「農薬の安全使用と履歴記帳について」研修会安全・安心農産物をお届けします！！

～安全・安心農産物をお届けします！！～



農薬の安全使用について研修中

6月28日、吾北地区物産直販協議会総会で「農薬の安全使用と履歴記帳について」の研修会を35名の参加を得て開催しました。

農業改良普及課は、農薬の使用に関する法律、間違いやすい農薬散布や栽培履歴の必要性等について説明しました。

参加者から、記帳しやすい履歴様式の作成についての意見を受けて、農業改良普及課、J A、役員等で新たな様式の作成を行うこととなりました。

農業改良普及課は、今後もむささびの里直販所の安全・安心な農産物の出荷に向けて支援していきます。

シシトウ部会反省会

～シシトウでのチビトビカスミカメ類対策は？～



防除対策を説明中

7月17日にJ Aとさしシシトウ部会は平成30園芸年度反省会を生産者10名が参加し開催しました。

農業改良普及課はハウス外の害虫発消長や環境制御技術実証ほの調査結果などの情報提供を行いました。農業技術センターは、チビトビカスミカメ類等難防除害虫の防除対策についてH29年度までの試験結果を説明しました。

生産者はこれらの害虫に有効な天敵や農薬散布の影響などについて情報交換を行い、次年度の対策を検討しました。

農業改良普及課は、今後も環境制御技術と併せてチビトビカスミカメ類等難防除害虫の防除対策を推進していきます。

Uターン・Iターン相談会「高知暮らしフェア」（大阪）

～地域の農業担い手確保に向けて～



移住相談受付中

6月30日、大阪市のAP大阪梅田茶屋町にて、Uターン・Iターン相談会「高知暮らしフェア」に土佐市、いの町と共に参加しました。農業改良普及課として移住後の産業としての農業部門について説明しサポートしました。土佐市ブース13組16人、いの町ブース8組11人の来客がありましたが、産業としての農業を目指す方はいませんでした。移住と農業関係部署とが連携した初めての取組で有り、今後とも農業担い手確保に向けて、取り組んでいきたいと考えています。

